



9月6、7日、八千代市で開催された 手話を考えるフォーラム2014。第2分科会では「人権?法改正?~今、手話サークルにできることってなんだろう?~」をテーマにグループディスカッションを行い、各グループ新聞社となって新聞づくりをしました。

手話を考えるフォーラム

2014 in 八千代



親切心が迷惑?余計なお世話になっていたりしませんか?コミュニケーション不足のまま、健聴者が決定してしまうことは、ろう者にとっては差別を受けたと感じることがあるようです。気付かずにしている差別があった・・・

〈社説〉

情報はすべてキチンと伝えることが大切だ!!
聴者には気付かない差別がある。

新聞作成が始まった途端に忘れてしまった手話・・・これも・・・

保険の見直しを勧められたので筆談で相談を求めたら、専門用語がたくさんあるので難しいと断られた。通訳を付けると連絡しても断られ、県センターに相談。『誤解していた』と謝罪される。

〈社説〉

これは差別である。もっとろう者に配慮してほしい。



いったいどんな誤解があったのだろう?

会社の中で・・・

2年前、通訳事情の悪かったころは、面接も職場も通訳無しでした。職場ではマスク着用が義務付けられ、仕事は見よう見まねで覚えたそうです。

3年が経って「手話を教えてほしい。」と言われ、嬉しかった。指文字も教えた。

〈社説〉

26年前は手話通訳者が付かず、苦しいことがたくさんあった。現在は理解が広がり楽しく勤めている。

「理解が広まれば楽しくなる」ということですね。

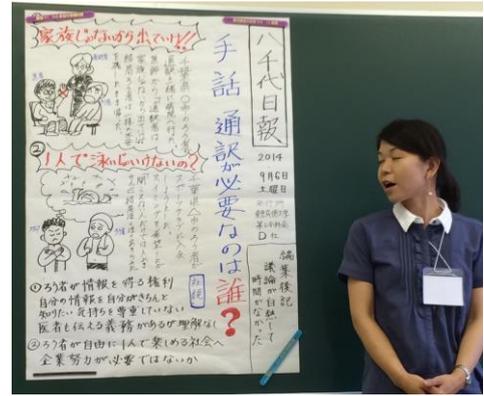


手話通訳が必要なのは誰？

病院に通訳と行ったら「家族じゃないから」と医師に拒否され、ろう者は不安なままというケース。また、スポーツクラブでスイミングを希望するも、「通訳がないから」とクラブから拒否され諦めたというケース。

〈社説〉

- ① 情報を得る権利、医師にも伝える義務がある。
- ② ろう者が自由に一人で楽しめる社会へ、企業努力が必要ではないか。



一見真逆のような2つのケースですが、どちらも諦めるのはろう者ですね。

ろう・聴関係なく、日本人はコミュが苦手？



何を話しているの？

最近引っ越した我が家。近所の人たちがずっとしている立ち話。私も聞いてみたいな。

〈社説〉

ろう者から『手話を覚えてほしい!』とは言い難い。健聴者から手話だけでなくいろいろな方法を使って交流を。

様々な角度から取材した内容でしたが、助言者の渡辺正夫氏からそれぞれがどんな権利に当てはまるのかなどお話を伺うことができ、法改正が身近な一つ一つの解決につながることを学習できました。また、秋元君子氏からは過去の運動の様子などを伺い、諦めないことの大切さを学びました。

県サ連 de 勉強会

『聴覚障害者が手話サークルに求める支援』

千葉県手話サークル連絡会も 10 年目となりました。手話を学ぶきっかけも様々な、健聴者組織である手話サークルですが、設立当初から問われている「手話サークルとは？」は、各サークルそれぞれの理想や現状があることでしょう。そこで、(社福法人)千葉県聴覚障害者協会 理事長である植野圭哉氏をお迎えし、下記の通り勉強会を開催いたします。

記

11月8日(土) 午後1時30分より

千葉聴覚障害者センター

会場の都合がありますので、ブロックごとに参加人数を確認してください。